



# 第 29 回(令和 7 年度) 「福祉QC」入門講座

## 開催要項

### 1. 趣 旨

- ◇ 組織的な業務改善・問題解決ツールである「福祉QC」活動の基礎を学びます。
- ◇ ワークショップを中心に、「福祉QC」活動の考え方・進め方を体験します。
- ◇ 「福祉QC」活動を通じて、職員教育・人材育成(ボトムアップ)をはかります。

福祉施設は、良質な福祉サービスの提供はもちろん、質の高いサービスを提供する職員育成、リスク回避や事故を防止する体制の構築など、組織全体で改善活動に取り組む必要があります。「福祉QC」活動は、業務改善・課題解決・職員育成に効果的な手法のひとつです。6～7名でチームをつくり、業務上の課題解決に取り組み、QC手法を活用して業務改善をはかります。そして、その過程において、職員はチームワーク、リーダーシップ、問題解決能力など多くの能力を身につけます。また、施設長のサポートを得ながらも、職員の力で課題解決することで、達成感と自信につながり、さらに仕事のやりがいと自分自身の成長を実感します。その結果、職員が育ち、チームが強くなり、施設の活性化にもつながります。

本講座は、**初めて「福祉QC」活動を行う管理者(理事長、施設長等)および福祉施設職員を対象とし**、組織的な業務改善・問題解決のツールである「福祉QC」活動の基礎を学び、QC手法の基本的な活用方法、QCストーリーの進め方を習得し、各施設における活動の推進に役立てていただくことを目的として、開催いたします。

- 2. 主 催 社会福祉法人全国社会福祉協議会 日本福祉施設士会
- 3. 運 営 同 「福祉QC」全国推進委員会
- 4. 期 日 令和 7 年 7 月 10 日(木)～11 日(金)

### 本講座に参加された方の感想

※第 28 回入門講座アンケート結果より抜粋

- ◇講義を聞いてからグループワークをすることでより理解が深められました。
- ◇かなり具体的に QC 活動の内容、流れを知ることができた。
- ◇2日間でチームのメンバーと仲良くなれるようなプログラムが考えられていると思った。
- ◇参加者メンバー全員がやる気を持ってやれば、より良い QC ができると理解しました。
- ◇福祉 QC の目的や手法について学べたことはもちろん、全国の福祉従事者の皆さんとの交流にも楽しさや気づきが多くあり、有益な機会だった。
- ◇今回学んだことを活かし、利用者様に満足していただけるケアに繋げていきたい。
- ◇時代の流れに伴い、利用者ニーズが変わっていく中、QC は大変参考になりました。

5. 会 場 全国社会福祉協議会 会議室  
 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階  
 TEL. 03-3581-7819 FAX. 03-3581-7928

6. 定 員 60 名

7. 対 象 (1) 日本福祉施設士会会員 および 会員在籍施設職員  
 (2) 受講を希望する社会福祉施設の管理職、職員

8. 参加費(1名あたり)

(1) 日本福祉施設士会会員 および 会員在籍施設職員 22,000 円  
 (2) (1)以外の受講を希望する社会福祉施設の管理職、職員 27,000 円

9. 日程・プログラム

※ 筆記用具、定規(30cm)、電卓を用いますので、各自ご持参ください。  
 ※ タイムスケジュールおよび内容は都合により変更となる場合があります。

第1日(7月10日(木))(受付 12:00~)

時 間	分	内 容
12:30~12:35	5	オリエンテーション
12:35~13:35	60	① 福祉 QC とは？(講義)
13:35~14:10	35	② 福祉 QC 活動モデル発表(実践発表) ※令和6年度「福祉 QC」全国発表大会・参加サークルによる発表
14:10~14:20	10	( 休憩 )
14:20~15:40	80	③ グループ活動の導入(講義と演習、発表)
15:40~15:50	10	( 休憩 )
15:50~17:30	100	④ テーマ選定、現状把握、目標の設定(講義と演習)
17:30~17:50	20	⑤ 要因解析(講義)
17:50~18:00	10	( 休憩 )
18:00~19:00	60	懇親会 (任意参加・会費制)

第2日(7月11日(金))(開場 9:00~) ※ご昼食は各自ご手配ください

時 間	分	内 容
9:30~9:40	10	1 日目の振り返り
9:40~11:00	80	⑥特性要因図の作成(演習)
11:00~11:15	15	( 休憩 )
11:15~12:30	75	⑦対策立案・実施、効果の確認・歯止め(講義と演習)
12:30~13:30	60	( 昼食・休憩 )
13:30~14:00	30	⑧2 日間の振り返り(講義)
14:00~15:00	60	⑨グループの振り返り
15:00		閉講あいさつ

● 指導講師 日本福祉施設士会「福祉 QC」全国推進委員会委員

※ グループ演習では、「福祉 QC」全国推進委員会委員が補助します。

[懇親会(任意参加・会費制)について]

初日終了後、任意参加により懇親会を開催しますので、積極的にご参加ください。

お申し込まれた方は、当日、会場にて参加費 500 円をいただきます(おつりのないようにご持参ください)。

なお、お申込者数が僅少の場合は開催を見合わせる場合がございますので、あらかじめご承知おきください。

## 10. 当日までの流れ

申し込み (6月27日〆切)	①申込フォームより参加申し込み ※申込期限… <b>6月27日(金)まで</b> ※申込方法は本要項の12.参加申し込み方法、留意点をご確認ください。 ②申込後、7月3日(木)までに所定口座まで参加費をお振込ください。
研修初日(7月10日)	12時より受付を開始します。

## 11. 個人情報の取り扱い

(1)「参加申込書」に記載された個人情報は、本会「個人情報の保護に関する方針(プライバシーポリシー)」に基づき、適切に取り扱うこととしており、本講座にかかる企画、各種資料の送付、修了者台帳の作成・管理等、本事業関連のみの目的で使用し、他の目的で使用することはありません。なお、本会プライバシーポリシーは本会ホームページに掲載しています(<https://dswi-sisetusi.gr.jp/>)。

(2)参加者相互の情報交換、交流を円滑に行うことを目的として「参加者名簿」を作成し、当日、参加者に配布します。参加者名簿には、都道府県、氏名、所属、役職のみを掲載します。

## 12. 参加申込方法、留意点

(1)申込フォームには下記の URL あるいは QR コードからアクセスしてください(Google フォームへ移動します)。  
<https://forms.gle/AAvcL1z5QMLekVCH8>

QR コードはこちらです→



(2)昼食代は参加費に含まれておりません。新霞が関ビル1階の弁当屋、LB階のコンビニエンスストアなどをご利用ください。なお、会場内でのご飲食は可能です。

(3)ご宿泊につきましては、各自でご手配いただけますようお願いいたします(宿泊が必要な場合は早期の確保をお勧めいたします)。

[参考]

千代田区内には「公共の宿」が数か所ありますので、宿泊費を抑えたい場合はお勧めいたします。

<https://koukyouyado.net/tokyo/>

数名で宿泊されたい場合は「国立代々木オリンピック青少年総合センター」もお勧めいたします(客室によってバス・トイレ共有の場合があります)。

<https://nyc.niye.go.jp/reserve/individual>

(4)参加申込は、定員を超えた際、締め切りとさせていただきます。

(5)変更・取消については、事務局まで FAX またはメールにてご連絡ください(お電話での対応はいたしかねます)。

(6)参加取消による参加費の返金対応はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。なお、講座修了後に本資料を送付いたします。

[会場のご案内]

全国社会福祉協議会 会議室（新霞が関ビル 5 階）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階

TEL. 03-3581-7819 FAX. 03-3581-7928



(交通案内)

・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分

・地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

[参考] 令和7年度 日本福祉施設士会主催「福祉QC」活動 関連研修会のご案内

第35回「福祉QC」全国発表大会

期 日：令和7年12月9日(火)

会 場：全社協会議室(東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階)

募集事例数：25事例(予定)

※開催要項は本会会報7月号(7/15刊行予定)にあわせて発送する予定です。

「開催要項」は、本会ホームページからPDFファイルにてダウンロードできます。

<https://dswi-sisetusi.gr.jp/>

日本福祉施設士会事務局(担当：瀬下)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 4 階

社会福祉法人全国社会福祉協議会法人振興部内

TEL:03-3581-7819/FAX:03-3581-7928 /メール:z-sisetusi@shakyo.or.jp